

愛媛大学土木海洋会 近畿支部 「業界研究会」「ホームカミングデー」「新年会・交流会」報告

金下 貴之 (環建 15 年卒) 河田 皓介 (環建 18 年卒)
木村 健輔 (環建 18 年卒) 川島 壮仁 (環建 18 年卒)

平成 30 年 1 月 20 日 (土) に大阪梅田スカイビルにて、愛媛大学土木海洋会近畿支部主催の業界研究会、ホームカミングデーおよび新年会・交流会を開催致しました。それぞれの開催概要は以下の通りです。

行事名	時間	参加人数	参加企業数
業界研究会	13:30~17:30	学生 42 名 社会人 48 名	16 社
ホームカミングデー	13:45~17:00	社会人 35 名	
新年会・交流会	18:00~20:30	学生 42 名 社会人 76 名	16 社

1. 【業界研究会】

業界研究会は近畿支部で自主企画・運営し、今年で 5 回目の開催となります。毎年、就職活動を控えた学部 3 回生および修士 1 回生を対象に開催しています。関西圏で活躍している OB・OG のみなさんに所属企業の代表として学生のみなさんに生の声を聞かせてもらい、就職活動の参考にしてもらうのが目的です。OB・OG のみなさんは自社の都合だけを考えるのではなく、建設業界全体を盛り上げようと各企業同士で協力し合い、学生のみなさんの建設業界就職に対する意識高揚と、就職活動がうまく進むように応援するというスタンスで参加して頂いています。これまで実施した 4 回の本研究会を通じて 33 名の方が、参加企業への入社を果たしています。今年は学部生 26 名、院生 16 名の合計 42 名の学生が参加され、企業側の参加は 16 社 (ゼネコン、コンサル、メーカー、高速道路、鉄道) にのぼりました。

1 回あたり 25 分の説明を 8 回行うという、聞く側にも話す側にとってもハードな行程ではあるものの、学生のみなさんの勤勉で真摯な姿勢と、OB・OG のみなさんの努力と工夫により、どの説明ブースにおいても、将来自分が働く姿を描きやすい説明を行われていました。お互いが同窓生ということで、学生・社会人ともに忌憚なく質疑応答を行うことができ、知りたかったこと、気になっていたことを直接聞き、自分の進路を決めるヒントを得ることができたと思われまます。



山下支部長から学生への記念品贈呈



熱気で汗ばむほどの説明会場の様子

2. 【ホームカミングデー in Osaka】

業界研究会で母校から多くの先生方が大阪へお越しになられる機会を余すことなく有効活用しようという想いのもとで、松山で毎年開催されているホームカミングデーの関西出張版を、業界研究会と並行する形で平成28年から開催しています。なかなか松山までは足を運ぶ機会がないが、母校との関わりを持ちたい、母校の様子が知りたい、同窓会を兼ねて集まりたいといった方の声に応えられるような催しになっております。コーヒーやお菓子が用意された堅苦しくない雰囲気のある会場では、本家の松山でのホームカミングデーの様子（動画等）や、業界研究会に学生を引率して頂いている先生方のお話、最近の研究テーマなどの近況報告・紹介を交えながら、参加頂いた卒業生の相互情報交換や人脈形成の支援、今後の企業での活動ならびにプライベートでの活動に役立つような時間を過ごすことができます。

今回は鉱山学科時代から現在の環境建設工学科までの年齢様々な35名の方が参加され、卒業時の研究室や、指導して頂いた先生、出身地域、出身高校などの自己紹介を踏まえて親近感を増しながら、母校を懐かしみ、世代を超えて同窓生が繋がり歓談する様子を見ることができました。また、本学内で販売されている「愛大グッズ」が当たる抽選会が行われ、学校名が入ったオリジナルグッズの獲得を巡り、大いに盛り上がっていました。業界研究会で企業側説明者として参加しているOB・OGのみなさんも、説明の合間の休憩時間を利用して覗きに来て、先生方や先輩・後輩との交流を行っていました。



ホームカミングデー in Osakaの様子



津波・沿岸環境専門 日向先生のお話
(最近の大学の動向と学科組織の変遷について)

3. 【新年会・交流会】

業界研究会およびホームカミングデーの終了後には、業界研究会に参加したOB・OGと学生の交流会と土木海洋会近畿支部新年会を兼ねた懇親会を開催しました。学生42名、社会人76名、総勢118名もの懇親会では、研究会での緊張や疲れから解放された学生や企業側のOB・OG、また、ホームカミングデーにて親交を深められた卒業生の方々が、より一層歓談され、賑やかな時間を過ごしていました。

この業界研究会兼交流会を初回からずっとご支援頂いている吉井先生から、今年の業界研究会の感想や、就職に向けて参考になるユーモアに溢れるお話をして頂き、みなさん笑顔で聞かせて頂きました。また、参加学生からは、代表として唐川和輝君（M1）が就職活動に向けた意気込みと、土木海洋会を通じての繋がりや強さを体感できたとの挨拶を頂きました。

業界研究会の限られた時間内では聞けなかったこと、話せなかったことなどを、学生と企業側のOB・OGの間でより深く話し込んだり、参加企業のOB・OGの間においても、建設業界の話や現在携わっている仕事内容の情報交換や名刺交換などが行われており、大変有意義な時間になったように思います。

また、今回は柳生静慶先輩（鉦山 39 年卒）から余興を頂き、そのお手並みの見事さに笑いと言き声の大きさが上がっていました。そして、宴もたけなわになったころ、恒例の藤原隆一先輩（海洋 56 卒）による学歌斉唱と愛大生に対するエールを頂き、伴光正先輩（鉦山 34 年卒）による中締めにて、愛大の卒業生であるということに皆が心を熱くして当日の全日程を終えることができました。



学生・OB・OG・先生方との集合写真（抜粋）



吉井先生のご挨拶（ユーモアたっぷりでした）



柳生先輩の余興
（笑いと驚きが入り混じっていました）

4. 【最後に…御礼と次世代に向けて】

本会運営にあたり、ご尽力頂いた先生方、また OB・OG の皆様には心から感謝するとともに、愛媛大学環境建設工学科ならびに土木海洋会がさらなる発展を遂げることを願っています。そして、その持続的な発展に向けて、これまで近畿支部の事務局として長年ご尽力を頂いている清水義博先輩（土木 52 年卒）をはじめとした近畿支部の役員の中に、平成以降の卒業生として若手が少しずつですが役員に就かせて頂いています。土木海洋会近畿支部には父親と同世代の大先輩から、卒業したての後輩まで幅広い年代の方々が在籍しています。ですが、会のイベント参加者に若い卒業生が少ないのが現状です。先輩方が今まで形成してきた、このような繋がりをもっともっと若い世代に繋げていくためにも、若い世代の参加を増やし活性化していく取り組みをしていこうと思います。同じ学校を卒業し、松山での学生生活を送った仲間という繋がりがあれば、打ち解けるのはあっという間です。新たな交流が生まれ、これからの人生の財産にもなっていくと思います。若い世代の方々、是非一緒に盛り上げていきましょう。私たち同様、先輩方も優しく迎え入れてくれます！



松山への復路バス時間待ちの間（役員反省会）

業界研究会【参加企業】 ※業種別 企業名五十音順

企業名	業種
株式会社熊谷組	建設業
株式会社鴻池組	建設業
大鉄工業株式会社 (JR西日本グループ)	建設業
大豊建設株式会社	建設業
東洋建設株式会社	建設業
株式会社森組 (旭化成グループ)	建設業
株式会社アスコ大東	建設コンサルタント
株式会社エイテック	建設コンサルタント
株式会社NJS	建設コンサルタント
株式会社オリエンタルコンサルタンツ	建設コンサルタント
株式会社日本港湾コンサルタント	建設コンサルタント
株式会社ニュージェック	建設コンサルタント
JFEエンジニアリング株式会社	メーカー
株式会社デンロコーポレーション	メーカー
西日本高速道路株式会社	高速道路
西日本旅客鉄道株式会社	鉄道



愛媛大学
EHIME UNIVERSITY

土木海洋会近畿支部
平成30年度 新年会(交流会) 出席者リスト
(平成30年1月20日)



氏名	学科卒年	卒論教官	現在の所属
吉井 稔雄	H22着任	(東京大卒)	愛媛大学 教授(交通計画)
日向 博文	H26着任	(東京工業大卒)	愛媛大学 教授(津波・沿岸環境)コース長・3回生学担
河合 慶有	H25着任	(東京工業大卒)	愛媛大学 講師(コンクリート工学)4回生学担
木下 尚樹	土木63	福田先生	愛媛大学 講師(岩盤工学)就職担当・土木海洋会幹事
見世 静子			愛媛大学 事務職員
木村 健輔	環建18	福田先生	熊鷹谷組 関西支店土木部 若狭電力工務所 主任
國富 和真	海洋61	八木先生	熊鷹池組 本社技術本部土木技術部 部長
松田 岳人	環建29	氏家先生	熊鷹池組 本社技術本部土木技術部 設計技術課
大伴 裕彰	土海09	柳先生	大鉄工業 土木支店土木工事第二部
三村 篤	土海10	柿沼先生	大鉄工業 大阪支店鳳出張所 所長
金下 貴之	環建15	矢田部先生	大鉄工業 土木本部土木部 主任
出口 智嗣	環建28	井内先生	大鉄工業 土木支店土木工事第四部
藤岡 泰好	土木57	五十嵐先生	大豊建設 大阪支店 支店次長
渡部 慎司	土海09	氏家先生	大豊建設 大阪支店土木部 作業所長
藤原 隆一	海洋56	柿沼先生	東洋建設 総合技術研究所 執行役員総合技術研究所長
金澤 剛	海洋元	伊福先生	東洋建設 総合技術研究所・鳴尾研究所 水環境研究室長
岩田 充浩	海洋06	伊福先生	東洋建設 大阪本店技術営業部 課長
大畠 晃	土木54	松木先生	熊鷹組 執行役員 土木事業本部副本部長
内山 浩二	海洋63	八木先生	熊鷹組 執行役員 経営企画副統括
高橋 善一	海洋61	山口先生	熊鷹組 総務人事部情報グループ 担当部長
延本 基春	土海08	深川先生	熊鷹組 土木事業本部技術評価向上部 マネージャー
西村 芳夫	海洋55	樋口先生	熊鷹組 経営管理本部 副本部長
森脇 軌央	環建15	武岡先生	熊鷹組 西日本支社設計技術部 リーダー
東 正史	土海07	渡邊先生	熊鷹組 東部支社東京総合事務所 下水道部 部長
穴藏 正俊	環建22	矢田部先生	熊鷹組 日本ヒューム株式会社(出向中)
西山 優輔	環建29	森先生	熊鷹組 西部支社大阪総合事務所 水道部
河野 侑奈	環建28	吉井先生	熊鷹組 熊鷹組 総合計画部
高野 尚後	環建14	郭先生	熊鷹組 熊鷹組 西日本事業本部 構造設計一部 主幹
松本 範子	海洋05	柳先生	熊鷹組 熊鷹組 西日本事業本部 技師
松本 睦	海洋61	山口先生	熊鷹組 熊鷹組 港湾・海岸グループ沿岸環境チーム チームマネージャー
田守 利充	土海09	八木先生	熊鷹組 熊鷹組 港湾・海岸グループ港湾・空港チーム 主任
神田 正人	海洋58	八木先生	JFEエンジニアリング 環境本部アクア事業部パイプライン技術部 副部長
続木 正啓	土木61	豊國先生	JFEエンジニアリング 大阪支店社会インフラ営業部産業機械営業室
藤永 涉	環建20	渡邊先生	熊鷹組 熊鷹組 技術第一課

前田 進也	環建14	二神先生	西日本高速道路 本社保全サービス事業部 保全改築課
松下 ゆかり	環建22	氏家先生	西日本高速道路 関西支社 新名神兵庫事務所 工務課
前田 健太	環建26	安原先生	西日本高速道路 関西支社 阪奈高速道路事務所 保全計画第一課
塩崎 宏紀	土木03	福田先生	西日本旅客鉄道 施設部保線課 担当課長
重永 三郎	環建20	安原先生	西日本旅客鉄道 金沢支社 新幹線施設課 課員
伴 光正	鉱山34	五十嵐先生	熊鷹組アステック東洋 取締役会長
柳生 静慶	鉱山39	見澤先生	(元 大東ガリマール) 代表取締役
大橋 健一	土木47	安山先生	(元 明石工業高等専門学校) 代表取締役
鈴木 忠彰	土木47	見澤先生	NPO法人 明るいシステム倶楽部 代表取締役
山野邊 憲正	土木47	松木先生	東洋建設 吉野建設 営業部
荒柴 敏夫	土木48	豊國先生	兵庫県 熊鷹組アスコ大東 技術担当常勤顧問
市川 潔	土木48	山下先生	(元 熊鷹組) 代表取締役
山下 明	土木48	見澤先生	熊鷹組ロイヤルホテル 代表取締役
坂田 政彦	土木52	柏谷先生	ケニス建築事務所 代表取締役
清水 義博	土木52	豊國先生	熊鷹組デンロコーポレーション 執行役員 総務本部長
林 健治	土木53	見澤先生	大阪工業大学 工学部 都市デザイン工学科 特任教授
山本 英樹	土木53	豊國先生	加古川市役所 上下水道事業管理者
荒木 圭祐	土木55	見澤先生	兵庫県 熊鷹組間瀬コンサルタント 神戸営業所/技術部長
矢野 寛	土木55	豊國先生	NEXCOエンジニアリング四国 経営企画本部長
泉市 耕二	土木56	安山先生	八千代エンジニアリング 大阪支店業務企画部 主幹
牧野 吉博	土木56	豊國先生	東洋建設 大阪支店 土木部 作業所長
宮地 克好	土木56	安山先生	近畿軌道エンジニアリング 土木建築部 課長
森田 靖	土木56	松木先生	熊鷹組 執行役員土木本部長
三木 康義	土木57	見澤先生	和歌山県庁 和歌山下津港湾事務所
小林 三芳	土木02	朝倉先生	熊鷹組フジタ 大阪支店 土木部次長兼京都西立坑作業所長
関 正造	土木05	福田先生	兵庫県庁(高砂市派遣) 高砂市 治水計画課長
横本 太司	海洋56	中村先生	青森エンジニアリング 代表取締役社長
丸山 健一	海洋59	柿沼先生	奥村組土木興業 特殊工事課 技術営業課長
三輪 哲也	海洋59	山口先生	若築建設 名古屋支店
丸山 悟	海洋元	八木先生	阪神高速道路 建設・更新事業本部 企画課 課長
小林 康範	海洋05	榎先生	西日本高速道路 関西支社 保全サービス事業部 保全第二課長
川島 壮仁	環建18	矢田部先生	熊鷹組 熊鷹組 技術設計部兼工務部
河田 皓介	環建18	森先生	熊鷹組 熊鷹組 総合技術部/技術主査
荻原 啓司	環建20	三宅先生	近畿技術コンサルタンツ 河川防災技術部
高本 龍直	環建22	中畑先生	川崎重工業 プラント・環境カンパニー 土建技術部
藤本 一平	環建23	伊福先生	熊鷹組アスコ大東 代表取締役
井上 達雄	環建24	大賀先生	高田機工 技術本部 設計部 設計課
宮内 雅弘	環建25	全先生	前田建設工業 四国支店